

研究に関するお知らせ

研究の名称：外国出生者への診療における医療通訳利用方法別比較研究

国立研究開発法人国立国際医療研究センター (NCGM) 病院 呼吸器内科では以下にご説明する研究を行うことを計画しています。

■研究の目的と意義

日本では近年、外国出生結核患者の数が増加しており、医療機関での多言語対応が重要になっています。日本では、医療通訳が整備されている医療機関はまだ限られていますが、従来行われている対面通訳に加えて、最近では電話やビデオカンファレンス形式の通訳も各地で徐々に活用され始めています。しかし、こうした各種の医療通訳方法を用いることで、利用者（患者様・医療従事者・医療通訳者）のそれぞれが医療の対応の質や医療通訳方法をどの様に受け止めるのかは、日本では客観的に十分検証されていません。

そこで本研究は、母国語が日本語ではない外国出生者へ異なる医療通訳方法（対面、ビデオカンファレンス、電話）を利用して通常の診療を行い、医師、患者、医療通訳者の各立場から診療対応の質を評価します。また、各医療通訳方法の活用の利点と課題を明らかにすることで、効率的・効果的な医療通訳整備の検討に役立てることを目的としています。

■研究方法

本研究では、事前に医療通訳方法を無作為に対面・電話・ビデオカンファレンス形式のいずれかに割り付け、研究参加者が受診される当院の結核の専門外来診療で活用いたします。その診療後に患者様、医師、医療通訳者にアンケートを回答頂き、その情報を収集・分析いたします。

■研究期間

理事長承認日から 2023 年 12 月 31 日まで。

アンケート回答による観察期間は、理事長承認日から 2022 年 5 月 31 日まで

■研究に用いる情報

アンケート項目： 患者様の情報（年齢、性別、母国語）、医療通訳者を活用した診療対応の質（安心、快適、質疑応答、提供時間、満足度）及び使用した医療通訳方法の評価（音声、手配時間）等。

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報：

診断名、合併症、治療内容等、を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

研究データは特定の研究関係者以外がアクセスできない状態で行います。当院から本研究に登録された方の匿名化対応表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。回収された研究データは個人が特定されない形で、当院から共同研究機関に分析のために記録・電子媒体として共有されます。

■研究の対象となる方

理事長承認日から2022年3月に当院呼吸器内科の結核専門外来を受診される患者様の中で、外国出生の方。

■利益相反について

利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き・手続きにかかる手数料等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ文末のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究組織

国立国際医療研究センター病院	研究責任者	呼吸器内科・医師	高崎 仁
結核予防会結核研究所	研究責任者	臨床疫学部・研究員	李祥任（及び国立国際医療研究センター国際感染症センター・客員研究員）

■本研究全体の研究代表者：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科・医師 高崎 仁

■お問い合わせ窓口

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
研究分担者 呼吸器内科・フェロー 草場 勇作
電話：03-3202-7181

■掲示場所・交付場所

呼吸器内科外来の掲示
呼吸器内科のホームページへの掲載